

地域学校協働連携NEWS

檜原の自慢やよさを見つけよう ～檜原小学校～



6/20(月)に下郷町立檜原小学校の3年生が、総合的な学習の時間に「檜原の自慢」を探しに校外学習に出かけました。

地域の歴史や文化に詳しい湯田恒弥さんから、「下野街道檜原宿」「伝説の力持ち大竹玄蕃」「弓田円蔵が尽力した農地改革」などのお話をうかがい、子供たちは地域の魅力をたくさん発見することができました。

- Q1 実際に檜原宿を通った戦国武将は？
 ①織田信長 ②豊臣秀吉 ③徳川家康
- Q2 大竹玄蕃がへいほう(お手玉)にした石ひとつの重さは？
 ①30kg ②60kg ③120kg
- Q3 弓田円蔵が農地を整備するために寄付した金額は？
 ①112.5万円 ②1125万円 ③1億1250万円

「へいほう石」のある観音堂の次に、檜原地区の圓福寺に行きました。住職の信山俊洪さんの説明を受けながら、建物の奥にある「閻魔大王」の木像を恐る恐る見学したり、檜に上がって1人1回ずつ鐘を突かせてもらったり、表にそびえる樹齢600年のケヤキの巨木(樹高31m、幹周6m)を見上げたり、校外学習ならではのどきどきやわくわくをたくさん味わいました。



魅力の再発見



3年担任の古市先生からは「自慢探しの学習は、子供たちが地域の魅力を再発見する貴重な機会になっています。授業の中で地域の歴史や文化に触れるのは、学校の大切な役割のひとつだと思います。」というお話がありました。

子供たちが発見した地域の魅力は、その日の夜、各家庭で話題になったことでしょう。